

2025 年 9 月 30 日 第 1 版

## 研究協力のお願い

この研究は、大阪医科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科大学 小児科学教室

### 記

研究の名称	小児 IgA 腎症における治療法と臨床経過の後方視的検討
対象	2014 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日までの期間に小児 IgA 腎症と診断された患者さんの診療録（カルテ）と検査結果、病理標本を研究に利用いたします。本学では 50 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 11 月 12 日）～2030 年 9 月 30 日
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的：この研究は、小児 IgA 腎症に対して行われた治療（ステロイド療法、免疫抑制薬、扁桃摘出術など）の違いが臨床経過や予後、成長にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。 利用方法：患者さんの診療情報と腎生検病理標本を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2025 年 11 月 12 日）
利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：診断時に作成済みの病理標本のプレパラートを顕微鏡で再度観察し、急性病変や慢性病変の程度を評価します。 情報：診療録（カルテ）から年齢、性別、診断、治療内容、経過（蛋白尿・血尿の推移、腎機能、再燃や副作用の有無）、成長指標（身長・体重など）を抽出します。

利益相反について	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑惑を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
----------	--

#### 研究者名

##### 【研究責任（代表）者】

大阪医科大学 小児科学 講師 松村 英樹

#### 参加拒否の申し出について

ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願ひいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

#### 問い合わせ窓口

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 小児科学

担当者 松村 英樹

連絡先 072-683-1221（代） 内線 56236

# 研究参加拒否書

大阪医科大学 学長 殿  
大阪医科大学病院 病院長 殿

大阪医科大学  
研究責任者 松村 英樹 殿

研究の名称	小児 IgA 腎症における治療法と臨床経過の後方視的検討
-------	------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名 (自署)

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者 (続柄 : )

住所

氏名 (自署)